



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月14日

上場会社名 株式会社リグア 上場取引所 東
 コード番号 7090 URL <https://ligua.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川瀬 紀彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 半田 晴彦 TEL 06 (7777) 0159
 定時株主総会開催予定日 2026年6月25日 配当支払開始予定日 ー
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	2,419	△15.8	△123	—	△160	—	△241	—
2025年3月期	2,872	△16.3	△154	—	△186	—	△301	—

（注）包括利益 2026年3月期 △241百万円（－％） 2025年3月期 △301百万円（－％）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	△159.28	—	—	△5.7	△5.1
2025年3月期	△202.46	—	—	△5.3	△5.4

（参考）持分法投資損益 2026年3月期 ー百万円 2025年3月期 ー百万円

（注）潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載していません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	2,493	176	7.1	110.93
2025年3月期	3,142	319	10.2	214.35

（参考）自己資本 2026年3月期 176百万円 2025年3月期 319百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	263	△41	△390	1,153
2025年3月期	163	147	△290	1,321

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,608	7.8	71	—	40	—	12	—	8.00

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) FPデザイン株式会社、除外 1社 (社名) 株式会社FPデザイン

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2026年3月期	1,611,800株	2025年3月期	1,511,800株
2026年3月期	21,051株	2025年3月期	21,718株
2026年3月期	1,513,245株	2025年3月期	1,486,686株

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	1,165	△0.0	△88	—	△103	—	△368	—
2025年3月期	1,166	△24.1	△67	—	△85	—	△143	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	△243.19	—
2025年3月期	△96.21	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	1,842	96	5.2	60.26
2025年3月期	2,423	366	15.1	245.47

(参考) 自己資本 2026年3月期 95百万円 2025年3月期 365百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

当事業年度は、前事業年度に引き続きIFMC.の営業展開に注力しました。当事業年度後半より当社社員が接骨院の現場に出向き、院の先生方と協力し直接IFMC.販売の支援を行いました。その結果、健康サポート売上は回復の兆しが見えつつありますが、売上高が前事業年度を僅かに下回る形となりました。

売上総利益は、M&A仲介手数料売上及びAIコンサルティング等の粗利率の高い商材が好調に推移し、前事業年度を56百万円上回る結果となりました。

営業損失は、営業人員の拡大を目的とした積極的な人的投資等により、販売費及び一般管理費が77百万円増加したことから、前事業年度に比べて拡大いたしました。

当期純損失は、特別損失として関係会社貸倒引当金繰入額141百万円、関係会社株式評価損50百万円等を計上したことにより、368百万円となりました。

以上の理由から、前事業年度と当事業年度の実績値に差異が生じております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明内容の入手方法)

決算補足説明資料は、T D n e t で同日開示した後に当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、代表取締役社長による決算説明の動画を当社ウェブサイトにて配信する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等の注記)	11
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2025年4月1日から2026年3月31日まで)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇の継続による個人消費への影響や実質賃金の伸び悩みに加え、米国の通商政策の動向、地政学的リスクの高まり、金融資本市場の変動等もあり、先行きは依然として不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは「DESIGNING WELLNESS LIFE」というパーパスのもと、「人生から不安をなくし、生きるをサポートする。」企業グループとして、人生における2つの不安「からだ」の不安をなくすウェルネス事業と「おかね」の不安をなくすファイナンシャル事業を展開しており、誰もが心から豊かで前向きになる“Wellness Life”が溢れる社会の実現を目指しております。

「からだ」を担うウェルネス事業では、当社のヘルスケアブランド「Dr. Supporter」「My. Supporter」をはじめとしたIFMC.製品を使用したメニュー(血流改善プログラム等)の導入に積極的に取り組んでまいりました。下期からは、当社社員が接骨院の現場に出向き、院の先生方と協力し、直接IFMC.製品の販売支援を加速するプロジェクトを行う等の取り組みを行っております。

「おかね」を担うファイナンシャル事業では、2025年8月1日付けでグループ内再編を行い、FPデザイン株式会社として、保険代理店業務及び財務コンサルティング等の経営支援事業を柱とすることにより、ファイナンシャル事業の黒字転換に向けた取り組みを継続してまいりました。

その結果、当連結会計年度の経営成績は売上高2,419,257千円(前年同期比15.8%減)、営業損失123,471千円(前年同期は154,729千円の営業損失)、経常損失160,722千円(前年同期は186,409千円の経常損失)、法人税等調整額を88,768千円計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純損失241,026千円(前年同期は301,000千円の親会社株主に帰属する当期純損失)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

<ウェルネス事業>

ソフトウェアは、接骨院向けシステムの販売や保守を行いました。2024年5月に「Ligoo POS & CRM」及び「レセONE」の事業譲渡を行った影響で、売上高は233,647千円(前年同期比8.5%減)となりました。

機材・消耗品は、接骨院での自費施術メニューの拡大をする為の機材及び機材に付属する消耗品を販売しております。主要機材及び消耗品の販売が堅調に推移した結果、売上高は前年同期並みの260,350千円(前年同期比1.0%減)となりました。

コンサルティングは、接骨院の幹部または幹部候補者向けの研修及び新規利用者の獲得を目的としたWebコンサルティングを行っております。当期よりAIコンサルティングの業務を開始したこと及びM&A仲介手数料売上が発生したこと等により、売上高は410,726千円(前年同期比11.2%増)となりました。

請求代行は、接骨院等における事務負担の軽減を目的とした療養費請求代行サービスを展開しております。療養費早期支払サービスの貸付残高は減少しましたが、新規顧客開拓により会員数が増加したことにより、売上高は402,551千円(前年同期比6.4%増)となりました。

健康サポートでは、IFMC.技術を用いた当社のヘルスケアブランド「Dr. Supporter」「My. Supporter」

「SLEEPINSTANT」を販売しております。IFMC.販売の支援等サポート体制の拡充を図ったこともあり、IFMC.導入院数は増加しました。しかしながら、導入院からの追加受注が減少した結果、売上高は466,684千円(前年同期比19.8%減)となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は1,773,960千円(前年同期比4.0%減)、営業損失は37,082千円(前年同期は29,452千円の営業損失)となりました。

<ファイナンシャル事業>

保険代理店は、ウェルネス事業を展開する当社グループ及び提携先からの紹介等により生命保険及び損害保険の募集活動を行いました。その結果、売上高は521,798千円(前年同期比8.1%増)となりました。

2025年8月1日付にて、株式会社FPデザインの保険代理店事業及び経営支援事業を完全子会社のFPデザイン株式会社に承継する連結子会社間の吸収分割によるグループ内再編を実施したうえで、金融商品仲介業(IFA)等を展開する株式会社FPデザインの株式の全てを譲渡いたしました。そのため、金融商品仲介業(IFA)は、2025年4月から7月までの営業展開となっており、売上高は58,051千円(前年同期比86.3%減)となりました。

経営支援・手数料は、財務コンサルティングを行いました。前年に発生した紹介手数料売上が減少した結果、売上高は65,447千円(前年同期比44.1%減)となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は645,297千円(前年同期比37.0%減)、営業損失は86,389千円(前年同期は125,277千円の営業損失)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産

当連結会計年度末の資産合計は2,493,170千円となり、前連結会計年度末と比べ649,029千円の減少となりました。

流動資産は2,243,280千円となり、前連結会計年度末と比べ491,337千円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が164,937千円、売掛金が61,759千円、営業貸付金が34,588千円、商品が80,669千円、リース債権及びリース投資資産が43,297千円減少したことによるものであります。

固定資産は249,889千円となり、前連結会計年度末と比べ157,691千円の減少となりました。これは主に、ソフトウェアが15,212千円、のれんが17,016千円、繰延税金資産が90,310千円減少したことによるものであります。

②負債

当連結会計年度末における負債合計は2,316,294千円となり、前連結会計年度末と比べ506,097千円の減少となりました。

流動負債は1,792,444千円となり、前連結会計年度末と比べ254,682千円の減少となりました。これは主に、預り金が66,884千円増加したものの、短期借入金が130,538千円、1年内返済予定の長期借入金が92,599千円、未払費用が82,674千円、未払消費税等が22,289千円減少したことによるものであります。

固定負債は523,849千円となり、前連結会計年度末と比べ251,414千円の減少となりました。これは主に、資産除去債務が8,723千円増加したものの、長期借入金が258,595千円減少したことによるものであります。

③純資産

当連結会計年度末における純資産は176,875千円となり、前連結会計年度末と比べ142,932千円の減少となりました。これは主に、第三者割当増資により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ45,700千円増加したものの、親会社株主に帰属する当期純損失を241,026千円計上したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は1,153,217千円となり、前連結会計年度末と比べ168,549千円の減少となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動の結果、得られた資金は263,675千円(前連結会計年度は163,377千円の収入)となりました。これは主に、売上債権が39,306千円、リース債権及びリース投資資産が43,297千円、営業貸付金が34,588千円、棚卸資産が88,783千円それぞれ減少し、未払金が60,032千円、預り金が72,492千円それぞれ増加した一方で、未払費用が29,635千円減少したこと等によるものであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動の結果、使用した資金は41,854千円(前連結会計年度は147,721千円の収入)となりました。これは主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出34,530千円等によるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動の結果、使用した資金は390,370千円(前連結会計年度は290,023千円の支出)となりました。これは主に長期借入れによる収入100,000千円及び株式の発行による収入91,400千円があったものの、短期借入金の純減少額130,538千円及び長期借入金の返済による支出451,194千円があったこと等によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、ウェルネス事業において、IFMC.技術を用いた当社のヘルスケアブランド「Dr. Supporter」「My. Supporter」「SLEEPINSTANT」の販売及びその他IFMC.製品の販売に引き続き注力するとともに、当社社員が接骨院の現場に出向き、院の先生方と協力して行うIFMC.販売の直接支援を継続することにより、IFMC.導入院数の増加及び既存導入院からの追加受注の獲得に取り組んでまいります。あわせて、他社とのコラボレーションによるBtoB向けIFMC.加工事業及び一般消費者向け商品の開発・展開を進め、当社グループの顧客基盤の更なる強化を図ってまいります。

ファイナンシャル事業においては、2025年8月1日付で実施した連結子会社株式会社FPデザインの株式譲渡に伴う事業再編を踏まえ、保険代理店及び経営支援（財務コンサルティング、M&A仲介）の各事業について、各事業の特性に応じた組織体制の見直しと販売費及び一般管理費の最適化を継続し、利益の確保及び早期黒字化を最優先課題として取り組んでまいります。

以上のことから、2027年3月期の業績予想につきましては、売上高2,608百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益71百万円（前年同期は123百万円の営業損失）、経常利益40百万円（前年同期は160百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純利益12百万円（前年同期は241百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,352,070	1,187,132
売掛金	272,856	211,097
営業貸付金	372,198	337,609
商品	258,853	178,183
原材料及び貯蔵品	30,367	25,309
リース債権及びリース投資資産	278,231	234,934
その他	175,348	74,485
貸倒引当金	△5,308	△5,471
流動資産合計	2,734,618	2,243,280
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	114,233	108,156
減価償却累計額	△49,477	△43,219
建物附属設備(純額)	64,756	64,937
車両運搬具	14,716	14,014
減価償却累計額	△7,843	△10,577
車両運搬具(純額)	6,872	3,436
工具、器具及び備品	144,066	124,033
減価償却累計額	△109,852	△97,638
工具、器具及び備品(純額)	34,214	26,394
建設仮勘定	3,258	—
有形固定資産合計	109,101	94,768
無形固定資産		
ソフトウェア	40,772	25,560
ソフトウェア仮勘定	300	—
のれん	106,633	89,617
その他	941	765
無形固定資産合計	148,647	115,943
投資その他の資産		
繰延税金資産	98,815	8,504
その他	54,615	33,010
貸倒引当金	△3,599	△2,338
投資その他の資産合計	149,831	39,177
固定資産合計	407,580	249,889
資産合計	3,142,199	2,493,170

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,365	4,438
短期借入金	905,764	775,226
1年内返済予定の長期借入金	443,799	351,200
未払金	94,815	100,959
未払費用	144,445	61,770
未払法人税等	22,822	22,962
未払消費税等	47,214	24,925
契約負債	24,771	23,756
預り金	332,942	399,826
賞与引当金	16,489	20,969
その他	7,695	6,407
流動負債合計	2,047,126	1,792,444
固定負債		
長期借入金	752,155	493,560
資産除去債務	21,182	29,905
繰延税金負債	1,926	384
固定負債合計	775,264	523,849
負債合計	2,822,391	2,316,294
純資産の部		
株主資本		
資本金	551,265	596,965
資本剰余金	476,085	524,074
利益剰余金	△687,951	△928,977
自己株式	△20,002	△15,596
株主資本合計	319,397	176,464
新株予約権	411	411
純資産合計	319,808	176,875
負債純資産合計	3,142,199	2,493,170

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	2,872,367	2,419,257
売上原価	1,166,781	996,413
売上総利益	1,705,586	1,422,843
販売費及び一般管理費	1,860,315	1,546,315
営業損失(△)	△154,729	△123,471
営業外収益		
受取利息及び配当金	859	1,762
受取手数料	—	1,150
受取保険金	436	—
受取賃貸料	361	—
その他	130	756
営業外収益合計	1,786	3,669
営業外費用		
支払利息	28,891	29,700
株式報酬費用消滅損	4,512	10,246
株式交付費	—	565
その他	62	408
営業外費用合計	33,466	40,920
経常損失(△)	△186,409	△160,722
特別利益		
固定資産売却益	3,121	159
事業譲渡益	13,726	—
子会社株式売却益	—	59,460
特別利益合計	16,848	59,619
特別損失		
固定資産除却損	0	3,373
事務所移転費用	—	3,263
リース解約損	—	2,217
減損損失	—	249
支払解決金	—	3,600
特別損失合計	0	12,704
税金等調整前当期純損失(△)	△169,560	△113,806
法人税、住民税及び事業税	35,108	38,451
法人税等調整額	96,330	88,768
法人税等合計	131,439	127,219
当期純損失(△)	△301,000	△241,026
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△301,000	△241,026

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純損失(△)	△301,000	△241,026
包括利益	△301,000	△241,026
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△301,000	△241,026
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	551,164	470,132	△386,951	△29,856	604,489	411	604,900
当期変動額							
新株の発行	100	100			200		200
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△301,000		△301,000		△301,000
自己株式の処分		5,852		9,854	15,707		15,707
当期変動額合計	100	5,953	△301,000	9,854	△285,092	—	△285,092
当期末残高	551,265	476,085	△687,951	△20,002	319,397	411	319,808

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	551,265	476,085	△687,951	△20,002	319,397	411	319,808
当期変動額							
新株の発行	45,700	45,700			91,400		91,400
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△241,026		△241,026		△241,026
自己株式の処分		2,288		4,405	6,694		6,694
当期変動額合計	45,700	47,988	△241,026	4,405	△142,932	—	△142,932
当期末残高	596,965	524,074	△928,977	△15,596	176,464	411	176,875

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失(△)	△169,560	△113,806
減価償却費	51,421	39,262
のれん償却額	17,016	17,016
事業譲渡損益(△は益)	△13,726	—
子会社株式売却損益(△は益)	—	△59,460
固定資産除却損	—	3,373
減損損失	—	249
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,016	△1,098
賞与引当金の増減額(△は減少)	△17,511	4,479
受取利息及び受取配当金	△859	△1,762
支払利息	28,891	29,700
売上債権の増減額(△は増加)	42,112	39,306
リース債権及びリース投資資産の増減額(△は増加)	52,738	43,297
営業貸付金の増減額(△は増加)	303,169	34,588
棚卸資産の増減額(△は増加)	63,486	88,783
仕入債務の増減額(△は減少)	△42,466	△1,926
前払費用の増減額(△は増加)	955	6,382
未払金の増減額(△は減少)	△28,771	60,032
未払費用の増減額(△は減少)	1,402	△29,635
契約負債の増減額(△は減少)	△3,746	△1,014
預り金の増減額(△は減少)	5,633	72,492
未払消費税等の増減額(△は減少)	△38,021	△12,766
その他	3,080	106,668
小計	258,261	324,161
利息及び配当金の受取額	859	1,750
利息の支払額	△29,570	△29,023
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△66,172	△33,212
営業活動によるキャッシュ・フロー	163,377	263,675
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,600	△3,600
有形固定資産の取得による支出	△16,909	△10,108
有形固定資産の売却による収入	3,121	—
無形固定資産の取得による支出	△19,459	—
敷金及び保証金の差入による支出	△951	△1,368
事業譲渡による収入	176,329	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△34,530
その他	9,190	7,752
投資活動によるキャッシュ・フロー	147,721	△41,854
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△194,235	△130,538
長期借入れによる収入	520,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△615,989	△451,194
株式の発行による収入	—	91,400
自己株式の取得による支出	—	△37
新株予約権の行使による株式の発行による収入	200	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△290,023	△390,370
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	21,075	△168,549
現金及び現金同等物の期首残高	1,300,691	1,321,767
現金及び現金同等物の期末残高	1,321,767	1,153,217

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの事業は、各社が取り扱っている主な製品・サービス別のセグメントから構成されており、「ウェルネス事業」及び「ファイナンシャル事業」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			連結財務諸表 計上額 (注)2
	ウェルネス事業	ファイナンシャル 事業	計	
売上高				
ソフトウェア	235,800	—	235,800	235,800
機材・消耗品	200,615	—	200,615	200,615
コンサルティング	369,394	—	369,394	369,394
請求代行	378,369	—	378,369	378,369
健康サポート	582,085	—	582,085	582,085
保険代理店	—	482,805	482,805	482,805
金融商品仲介 (IFA)	—	424,200	424,200	424,200
経営支援・手数料	—	117,050	117,050	117,050
顧客との契約から生じる収益	1,766,265	1,024,056	2,790,321	2,790,321
その他の収益 (注)1	82,046	—	82,046	82,046
外部顧客への売上高	1,848,311	1,024,056	2,872,367	2,872,367
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,848,311	1,024,056	2,872,367	2,872,367
セグメント損失(△)	△29,452	△125,277	△154,729	△154,729
セグメント資産	2,977,382	164,816	3,142,199	3,142,199
その他の項目				
減価償却費	45,647	5,774	51,421	51,421
のれんの償却額	17,016	—	17,016	17,016
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	25,367	11,370	36,737	36,737

(注) 1. その他の収益は、ソフトウェア及び機材・消耗品のリース取引によるものです。

2. セグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			連結財務諸表 計上額 (注)2
	ウェルネス事業	ファイナンシャル 事業	計	
売上高				
ソフトウェア	215,132	—	215,132	215,132
機材・消耗品	199,835	—	199,835	199,835
コンサルティング	410,726	—	410,726	410,726
請求代行	402,551	—	402,551	402,551
健康サポート	466,684	—	466,684	466,684
保険代理店	—	521,798	521,798	521,798
金融商品仲介 (IFA)	—	58,051	58,051	58,051
経営支援・手数料	—	65,447	65,447	65,447
顧客との契約から生じる収益	1,694,930	645,297	2,340,228	2,340,228
その他の収益 (注)1	79,029	—	79,029	79,029
外部顧客への売上高	1,773,960	645,297	2,419,257	2,419,257
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,773,960	645,297	2,419,257	2,419,257
セグメント損失(△)	△37,082	△86,389	△123,471	△123,471
セグメント資産	2,410,462	82,707	2,493,170	2,493,170
その他の項目				
減価償却費	34,372	4,890	39,262	39,262
のれんの償却額	17,016	—	17,016	17,016
減損損失	249	—	249	249
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	19,347	1,493	20,840	20,840

(注) 1. その他の収益は、ソフトウェア及び機材・消耗品のリース取引によるものです。

2. セグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3. 2025年8月1日付にて、株式会社FPデザインの保険代理店事業及び経営支援事業を完全子会社のFPデザイン株式会社に承継する連結子会社間の吸収分割によるグループ内再編を実施したうえで、金融商品仲介業(IFA)等を展開する株式会社FPデザインの株式の全てを譲渡いたしました。そのため、金融商品仲介業(IFA)は2025年4月から7月までの営業展開となっております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	214.35円	110.93円
1株当たり当期純損失(△)	△202.46円	△159.28円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	－円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失のため記載していません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△301,000	△241,026
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△301,000	△241,026
普通株式の期中平均株式数(株)	1,486,686	1,513,245

(重要な後発事象)

該当事項はありません。